

キャラクター名 プレイヤー名

フェルクレールト (通称フェルク)

メインクラス	プリースト	Lv.1:		レベル	10
サポートクラス	バード	Lv.1:	メイジ	性別	♂
称号クラス				年齢	18
種族	ヒューリン			境遇	義理の親
出自 (効果)	孤児			目標	憧憬

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	10	9	10	16	11	19	15
ボーナス	3	3	3	5	3	6	5
クラス修正	0	1	0	1	1	3	2
他修正							
能力値	3	4	3	6	4	9	7

HP	78
MP	100
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手									
頭部	ハット					1			
胸部	ローブ					2			
補助	マント					1			
装身具	楽器								
能力値			4	0	3	0	9	7	8
スキル									
その他									
総計(右)			4	0					
総計(左)			4	0	3	4	9	7	8
総計(両)			4	0					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	6			6	+ 2 d
アイテム鑑定	6			6	+ 2 d
魔術判定	6			6	+ 3 d
呪歌判定	9			9	+ 3 d
錬金術判定					+ d

所持品	
MPポーション	
MPポーション	
MPポーション	
MPポーション	
MPポーション	

現在重量: 5

最大重量: 10

所持金: 20

預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
プロビデンス	★	-	パ°ッパ°	-	-	-		
効果: フェイトによるダイス増加数上限が【幸運】+1となる								
プロテクション	5	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果: 対象が受ける予定のダメージに-[SLd]								
ヒール	★	4	Xジャー	20m	単体	魔術		
効果: 対象の【HP】を【3D+CL×3】点回復する。								
コンセントレイション	★		パ°ッパ°		自身			
効果: 魔術判定に+1D								
マジックブラスト	2	3	ムーブ		自身	自動成功		
効果: 魔術の【対象:単体】を【対象:範囲(『マジックブラスト』のSL×2体)】に変更する。								
エチュード	2	3	Xジャー	20m	範囲	呪歌		
効果: ダメージ増加を行う。対象の攻撃のダメージに+【SL×2】する。								
バラード	3	5	Xジャー	20m	範囲	呪歌		
効果: 【物理防御力】【魔法防御力】から一つ選択。対象の選択した防御力に+【SL×2】する。								
シルバリィソング	★	-	パ°ッパ°	-	自身	-		
効果: 呪歌判定に+1D								
アレグロ	5	-	パ°ッパ°	-	自身	-		
効果: 呪歌判定の達成値に+【SL×2】する。								
ヒムノディ	★	-	Xジャー	20m	範囲	呪歌	ソナ1	
効果: 対象の【MP】を【3D+CL×3】点回復する。								
ディスコード	2	3	DR直後	20m	単体	自動成功		
効果: 対象にダメージ増加を行う。その攻撃のダメージに+【(SL)D】する。								
ファイトソング	★	-	セットアップ	20m	単体	自動成功	ソナ1	
効果: 対象の「使用条件:シナリオ1回」のスキルの使用回数を1回増やす。								
クイックソング	1	9	セットアップ	-	自身	自動成功	ソナSL	
効果: 「タイミング:Xジャー」「判定:呪歌」の呪歌を同時に使用する。そのスキルがセットアップで使用可能となる。								
ジョイフルジョイフル	2	6	Xジャー	20m	単体	呪歌	ソナSL	
効果: 行動済のキャラクターに有効。対象を未行動にする。								
ララバイ	★	4	Xジャー	20m	範囲	呪歌		
効果: 対象に「スタン」を与える。								

産まれてすぐ森に捨てられていたのを、人間に友好的な妖魔の魔法使い(祖母となる)に保護され、妖魔の集落で育つ。集落の妖魔の殆どが人間を忌み嫌い、フェルクの命を狙う者もいたが、祖母の特殊な魔法結界によって護られ、家の周りのある程度の範囲まで自由にできた。そんな環境で友達もできず、ひとりでのいたのを気にした祖母がヴァイオリンをくれる。

—精霊と会話ができる魔法のヴァイオリン。

森の精が音を教えてくれるというそのヴァイオリンを弾くと、不思議とどこからか美しい旋律が聴こえた。その旋律には呪歌の力が秘められており、独学で引き続けると、祖母も驚くほどに音楽の才能を発揮し、いつしかその力を得る。祖母はフェルクが精霊と相性がいいのを知り、護身用にと魔法の基礎も教え込んだ。そうして、祖母と精霊たちと平穏の時を過ごしていた……。

だが、やがて祖母は老衰で倒れ、フェルクを護っていた結界も弱まり、集落の妖魔達はいよいよ結界を破り奇襲をかける準備をしていた。ある晩、その時を悟った祖母は、フェルクに逃げるよう説得する。一緒に逃げようというフェルクに、祖母は老衰した身はもう保たず、このまま集落を出て逃げ延びる体力は残っていないと告げる。—さあ、お行きなさい。そして、生きて……

迫り来る妖魔達の足音を背に、祖母は最後の力を振り絞り、己ごと家を炎に包んだ。それを背にフェルクは涙を流しながら、集落を離れるのだった。

おどおどとした小心者の少年。争い事を好まない優しい性格。

